

## 「ひょうご森のまつり2017」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構  
森林整備センター 神戸水源林整備事務所

兵庫県では、県民参加による森づくりを一層推進し、かけがえのない森林を次世代に引き継いでいくことを目指し、森の大切さを認識する祭典として、毎年「ひょうご森のまつり」を開催しています。

今年度は、重要無形文化財に指定された「杉原紙」の発祥の地であり、日本一の酒米「山田錦」の発祥の地でもある、多可町の中央公園周辺において、「活かそう・資源育てよう未来の森」をテーマに「ひょうご森のまつり2017」が平成29年11月5日（日）に開催され、神戸水源林整備事務所（兵庫県神戸市）も本イベントに参加しました。

当日は秋晴れの天候にも恵まれたこともあり、多くの来場者が訪れ盛況に開催されました。

当事務所のブースでは水源林造成事業のPRのためのパネル展示のほか、木への漢字当てクイズ、どんぐりや松ぼっくりを使った「木工体験」を行い、多くの地域の皆様に足を運んでいただきました。

木工体験では、子供たちだけでなく大人も童心に帰って、木のぬくもりを感じる素敵な作品を作られているように見受けられました。この度の体験等を通じて、森や緑に関心・興味を持っていただくきっかけになればと思います。

また、ブースを訪れていただいた方々には、水源林造成事業のパンフレットを配布して、その重要性和効果をPRしました。

神戸水源林整備事務所は、今後もこのような機会を活用し、地域の皆様に森林の大切さや水源林造成事業への理解が広がる普及啓発の取組みを積極的に進めてまいります。



当事務所のブースの様子



多くの来場者で盛況の木工体験コーナー



親子で漢字クイズに挑戦中